

楓沢コケ観察用（ルート順番号順）



① ウマスギゴケ（スギゴケ科）

特徴：蒴の形と蒴と蒴柄の接点にあるコブに注目。



④ アオモリサナダゴケ（ハイゴケ科）

特徴：葉は楕円形（ワラジ型）で扁平。



② エゾスナゴケ（ギボウシゴケ科）

特徴：葉先に透明尖がある。



⑤ コツボゴケ（チョウチンゴケ科）

特徴：雌雄異株（しゅういしゅ）なので、匍匐する茎の他に雄花盤のある雄株を見つけること。



③ コフサゴケ（イワダレゴケ科）

特徴：茎が赤褐色、葉は凹み、葉先は急に尖る。



⑥ セイタカスギゴケ（スギゴケ科）

特徴：針葉樹林が好きなコケ。茎が真っ直ぐに長く伸び、白い帽（ぼう）の相称の蒴を付ける。



⑦ コセイタカスギゴケ (スギゴケ科)

特徴：セイタカスギゴケと同じ環境にある。傾斜面に垂れながら群落をつくる、葉幅が広い。



⑩ ハイスギバゴケ (ムチゴケ科)

特徴：日陰の壁に張り付き、左右に枝をだす。茎葉が三角状で特徴があるが、小さいのでルーペで確認。



⑧ タチハイゴケ (イワダレゴケ科)

特徴：見た目はコフサゴケに似るが、茎葉の観察をすると葉先は鋭頭だが細長く尖らない。葉が凹み、立てヒダがあるとフトリュウビゴケを考える。



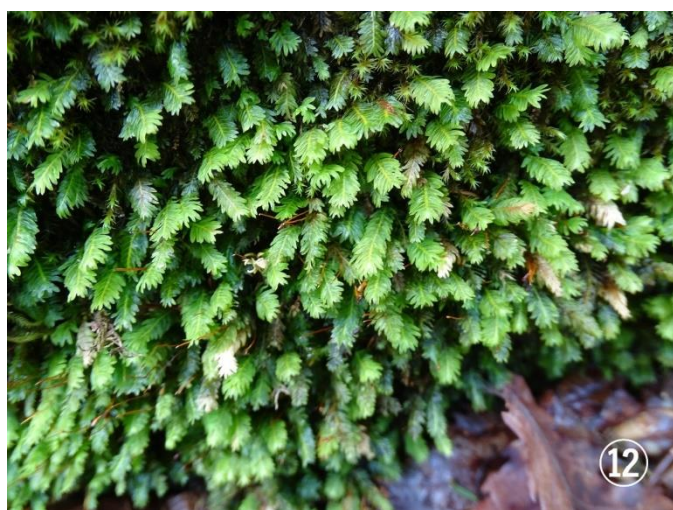
⑪ クジャクゴケ (クジャクゴケ科)

特徴：手の指を広げた様な形



⑨ ミヤマホラゴケモドキ (ツキヌキゴケ科)

特徴：厚めの円葉が交互に重なり合って茎に付く。



⑫ トサカホウオウゴケ (ホウオウゴケ科)

特徴：ホウオウゴケは葉が2列に付くので分かりやすい。このコケの葉先の不規則の歯からトサカの名前。



⑬ タカネツボミゴケ (ツボミゴケ科)

特徴：包み込むような相対の葉先にツボミのような花被がある。オオホウキゴケに似る。



⑯ シッコゴケ (シッコゴケ科)

特徴：針葉樹林内に見られる。シッコゴケの仲間は多いが、茎に白い仮根があればシッコゴケとしてよい。褐色であれば、カモジゴケ、チシマシッコゴケとする。



⑭ カラフトキンモウゴケ (タチヒダゴケ科)

特徴：樹幹、倒木に小さく丸い群落をつくる。蒴にかぶる帽が黄色味の毛が見られる。



⑮ ヒメハイゴケ (ハイゴケ科)

特徴：ハイゴケの仲間の葉先は鎌状に曲がる。ヒメはハイゴケより小さいということ。イトハイゴケは更に細く見える。それぞれ見て慣れるしかない。

